

第1部

『IFRS 会計基準に関するいくつかの話題  
—IFRS 会計基準をより深く理解するための話題—』

- ▶▶▶ 講演者 山田 辰己 氏 (商学部特任教授)
- ▶▶▶ ファシリテータ 石川 鉄郎 研究員 (企業研究所研究員、商学部教授)

第2部

『企業会計を学んで  
—中大での半世紀と重ね合わせながら—』

- ▶▶▶ 講演者 石川 鉄郎 研究員 (企業研究所研究員、商学部教授)
- ▶▶▶ ファシリテータ 浅倉 和俊 研究員 (企業研究所研究員、商学部教授)



企業研究所では、企業活動の理論的、実証的研究を行い、その研究成果を公表してまいりましたが、より一層「社会に開かれた」研究所となることを目指し、毎年、公開講演会を開催しております。  
今年度は4年振りの対面開催となります。皆様のご参加をお待ちいたしております。

企業会計の変遷と  
国際財務報告基準

2023 7/29 SAT

**講演会** 14:00 ~ 17:00  
参加費：無料

**懇親会** 17:30 ~ を予定 (講演会終了後)  
参加費：3,000円

申込方法

下記のURLまたはQRコードから  
事前にお申込みください。  
<https://www.chuo-u.ac.jp/research/institutes/business/event/>



会場案内

▶ アルカディア市ヶ谷 5F 穂高  
東京都千代田区九段北4丁目2番25号

交通案内

- 地下鉄 有楽町線・南北線  
市ヶ谷駅(1またはA1)出口から徒歩2分
- 地下鉄 新宿線  
市ヶ谷駅(A1またはA4)出口から徒歩2分
- JR 中央線(各駅停車)  
市ヶ谷駅から徒歩2分

問合せ先

▶ 中央大学企業研究所

- E-mail k-kouenkai-grp @g.chuo-u.ac.jp
- 主催 中央大学企業研究所
- 後援 中央大学南甲倶楽部・中央大学学員会



# ご挨拶

企業活動では、業種・業態や製品にかかわらず、統一的な基準に依拠して全ての営みが金銭的に認識されま  
す。ある企業・製品が社会を豊かにし、賞賛・尊敬されているとして、その貢献は金銭的に評価されます。測定  
に際して、評価基準が問題となります。ある基準では優良企業であっても、別の基準によれば倒産寸前と評価  
されるかもしれません。これは、たとえば、今春、米国・シリコンバレー銀行に発生した問題です。国債を保有  
していると、金利上昇によって評価上の損失が一時的に発生することがあります。一方、国債を満期まで保有  
すれば額面で償還されるため、実際の損失は発生しません。この銀行は、国債を満期まで保有していれば多額  
の利益を得ることができましたが、国債を時価評価されたため経営破綻してしまいました。

企業活動は統一的な基準により評価されるとして、基準は人間が定める恣意的なものです。国際的な会計基準は、国際財務報告基  
準(IFRS)と呼ばれ、基準により企業評価は変化するため、その行方は国・企業の死活問題です。山田辰己先生は、国際会計基準審議会  
(IASB)理事・商学部教員として基準策定などに従事してきました。IFRSとは何か、企業はどのように対応すべきかなど有益な示唆が  
得られると思います。

企業に多大な影響を与える会計は、どのような才能がどのように担ってきたのでしょうか。僅かな米国経験によれば、文化により  
開花する才能は異なるようです。たとえば、金融分野では、アングロサクソン系・ユダヤ系・インド系が活躍しています。一方、日本人  
に向いている専門的職業は、会計士や会計研究者だと感じています。会計が求める緻密さが、真面目で忍耐強い日本人に向いている  
のでしょうか。石川鉄郎先生は、日本を代表する研究者として、中央大学の会計研究・教育を長く牽引してきました。この間、多くの諸  
兄諸姉が石川先生から会計を学び、世界で活躍しています。学問としての会計学から始まり企業会計の変遷さらには中央大学の歩み  
など、会計関係者のみならず中央大学に所縁のある皆様にとって興味深いお話を伺えると期待しています。

中央大学企業研究所長 熊倉 広志

## 講演者プロフィール

### 山田 辰己 氏



#### 学 歴

1976年 慶應義塾大学商学部卒業

#### 経 歴

2015年～ 中央大学特任教授  
2019年～ 株式会社乃村工藝社  
社外取締役(監査等委員)  
2020年～ 三菱ケミカルグループ株式会社  
社外取締役(監査委員長)  
2022年～ 公益監視委員会(PIOB)指名委員会委員

その他、(株)住友商事、  
中央青山監査法人パートナー、  
国際会計基準審議会(IASB)理事、  
有限責任 あずさ監査法人パートナー、  
公認会計士・監査審査会委員を経験。

#### 主要著作

2013年 『IFRS設定の背景  
—基本事項の決定・従業員給付—』  
税務経理協会  
2013年 『IFRS設定の背景—金融商品』  
税務経理協会  
2019年 『論点で学ぶ国際財務報告基準(IFRS)』  
(あずさ監査法人との共著)  
新世社  
2020年 『IFRSの本質 第三巻』  
税務経理協会  
2021年 『IFRSの本質 第一巻<改訂版>』  
税務経理協会  
2022年 『IFRSの本質 第二巻<改訂版>』  
税務経理協会

### 石川 鉄郎 研究員



#### 学 歴

1982年 中央大学大学院  
商学研究科博士後期課程 満期退学

#### 経 歴

1981年 中央大学商学部 助手  
1992年～ 中央大学商学部 教授  
2007年～2011年  
中央大学商学部長  
2014年～2019年  
中央大学全学連携教育機構長  
2020年～ 中央大学経理研究所長

#### 主要著作

1992年 『時価主義会計論』  
中央経済社  
2013年 『財務会計論(三訂版)』  
税務経理協会

### 申込方法

下記のURLまたはQRコードから事前にお申込みください。  
<https://www.chuo-u.ac.jp/research/institutes/business/event/>

